
●市民一人ひとりの役割

市民の皆さん一人ひとりが、協働の考え方を共有し、理解と思いやりのもとに、お互いが支え合う社会づくりに貢献することが期待されます。

自発的かつ自然体でまちづくりに参画でき、自己実現を図ることのできる環境を、ともに築いていくことが大切です。

自治活動や市民活動への理解と連携を深め、まちづくりに積極的に参画することが期待されます。

●自治会の役割

昭和24年に結成された任意団体である自治会は、半世紀にわたる社会貢献活動や地域の親睦活動、まちづくり（防災・防犯・福祉・環境など住民共通の福祉向上のため、これまでに培われた）活動のノウハウを活かし、住民に最も身近な基礎的団体として、さらに住民自治を充実させた“自治的地域コミュニティの形成”に向けて、基盤的な役割が期待されます。

地域の歴史や文化に対する理解や地域活動への若年層の参加を促進するため、地域の伝統文化継承や三世代交流など、広く活動機会の提供に努めることが大切です。



●市民活動団体の役割

自立と自己責任のもとに、専門性・先駆性・機動性を発揮し、日常的課題や社会的課題の解決に向けて積極的な活動を展開するとともに、個人の自己実現や社会参画のきっかけを提供する役割が期待されます。

●企業の役割

地域の一員として、また企業市民として社会貢献活動やまちづくりに積極的に参画するとともに、専門的で多分野にわたる資源を活かし、地域経済型コミュニティとして地域型コミュニティや目的型コミュニティの支援を行うことが期待されます。



●中間支援組織の役割

中立的な立場から“協働のまちづくり”を支援する中間支援組織は、「市民と行政のパイプ役」として、また「地域型コミュニティや目的型コミュニティ相互のコーディネート役」として、さらには「住民自治活動や市民活動の促進」に向けて、その機能を発揮することが期待されます。